



# ゆもとと通信 大田区 地元の『ゆもと』

自由民主党  
大田区議会議員(3期目)

第12号

大田区の政策提言 2019年3月発行

## 新空港線(蒲蒲線)の整備計画は、蒲田再生の可能性を秘めています

道路・鉄道・モノレールなどの公共交通インフラをはじめ、羽田空港周辺や交通結節点となる駅周辺の在り方や、町の特性を考慮した都市機能の更新・再生を図ります。**公共投資が民間投資を集め、そして人の集積が進み街に活気を取り戻した**例は多くあります。公共投資は民間投資を集めるきっかけになりえます。公共投資の波及効果を研究し必要性の高い公共投資を適切に行うべきだと考えます。

### 蒲蒲線は本当に実現するのか？

国土交通省は東京圏における今後の都市鉄道の在り方について、交通政策審議会に諮問をしております。(※諮問とは 有識者で構成された審議会などに意見を求めること)

#### 交通政策審議会からの答えは、

「矢口渡から京急蒲田の事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について**合意形成を進めるべき**」との評価が示されております。

解りやすく言うと、「誰がどの程度の費用負担をするのか」を決定し、**実現すべきプロジェクト**であるとしています。

そして現在、国・都・大田区・東急・京急で負担割合の調整を図る段階まで計画は進んでいます。  
(答申第198号(平成28年4月20日公表)より抜粋)

## 大田区の財政的な負担はどの程度見込まれるか？

新空港線の概算事業費は1260億円、都市鉄道等利便増進法を使い整備計画を進めているので地方の負担割合は1/3となります。つまり東京都・大田区で420億円の負担をする事になります。

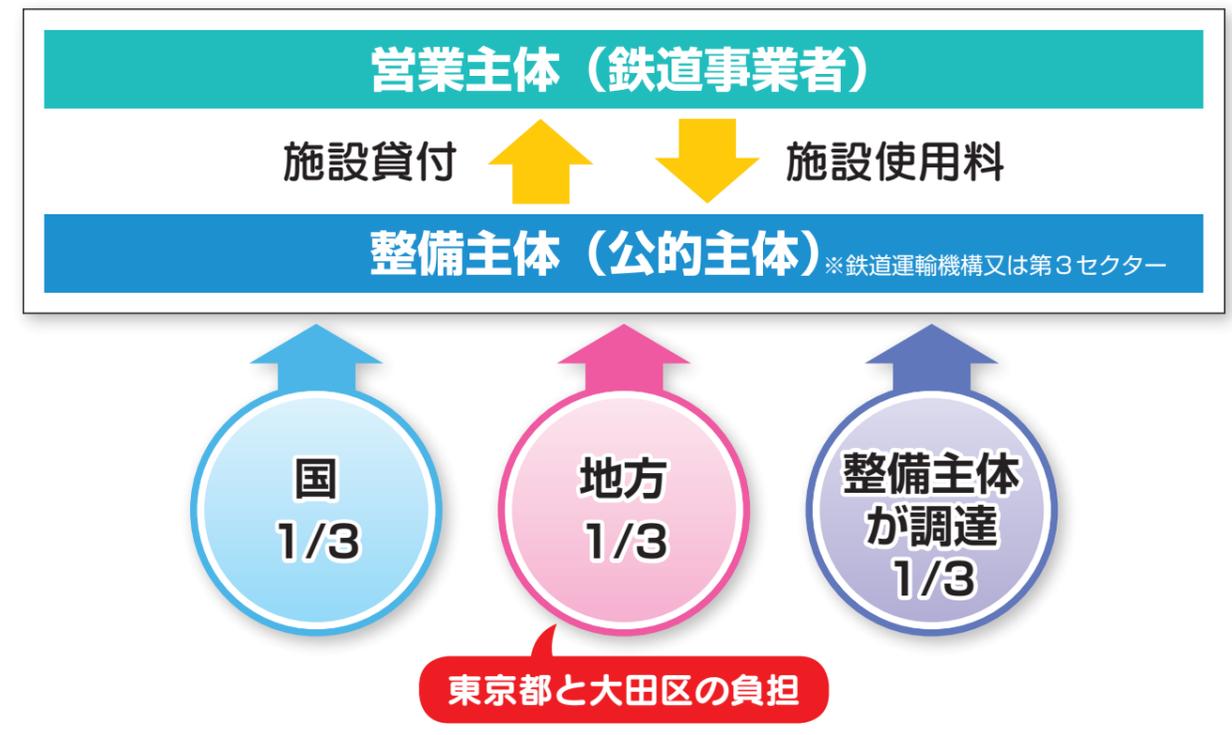
大田区は新空港線整備に向け、財政負担の平準化と健全財政の維持を目的に平成30年度までに基金約60億円を積立ております。仮に、**東京都と大田区の負担が折半であるならば大田区の負担は210億円程度が見込まれます。**

事業が社会に貢献する程度を分析する手法として費用便益比(B/C ビーバイシー)という考え方があります。1.0以上は社会的に意義のある事業とされていますが新空港線の**費用便益比(便益/費用)は1.5**です。

経済波及効果は1400億円とも言われる新空港線の整備は羽田空港から最も近い中心市街地であるという立地を活かし、蒲田・大森へ新たな人の集積や民間投資を呼び込むきっかけとなりえます。財政負担に配慮しつつも、私たちの街のこれからへの期待感や成長を創り出すには効果的な公共投資として、新空港線の整備は前向きに検討すべきプロジェクトであると言えます。

「空港を抱える街、大田区」を標榜してはおりますが、その実感はあまり感じられなかった感のある大田区中心市街地の街づくりを前に進めます。

### 都市鉄道利便増進事業費補助金の仕組み



裏面につづく

# どの程度の効果が期待されるのか？

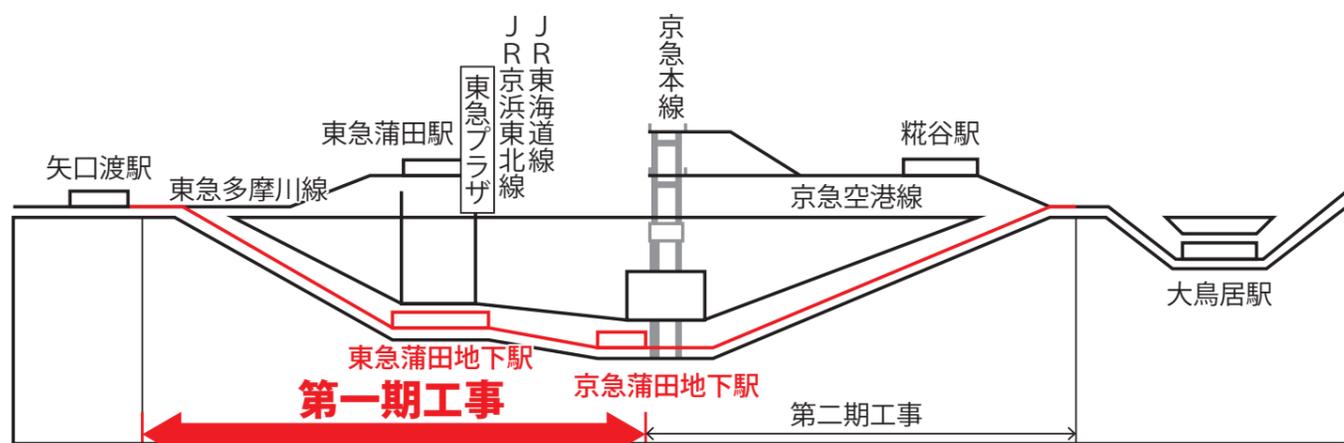
東急東横線・東京メトロ副都心線・東武東上線・西武池袋線との相互直通運転を通じて、国際競争力強化の拠点である新宿、渋谷、池袋などや東京都北西部・埼玉県南西部と羽田空港とのアクセス利便性が向上します。(交通政策審議会答申抜粋)

**大田区民の視点からすると、新宿、渋谷、池袋へのアクセスが良くなり、東急東横線・東京メトロ副都心線・東武東上線・西武池袋線への相互直通運転が可能となれば、上記の鉄道利用が格段に容易になります。これは、大田区民にとっても大きなメリットといえます。**

東京の鉄道は丸の内を中心に枝が外に伸びていましたが、新空港線が実現すれば中心を通過せずに東京都南西部と北西部の移動が可能となります。羽田空港へのアクセスがあればこそ相互直通運転が実現する事になりますから、新空港線プランは空港を抱える立地を活かした町づくりとも言えます。アクセス性や速達性が向上すれば、必ず人の移動と集積ポイントは変わります。空港を活かした町づくりの本格始動とも言えるこのプランは、今後の大田区の発展に大きな可能性をもたらします。

## 新空港線(蒲蒲線)の概要

新空港線(蒲蒲線)は東急多摩川線矢口渡駅付近から多摩川線を地下化し、東急蒲田駅(地下)、京急蒲田駅(地下)を通り、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画です。



現在進めているのは第一期工事(矢口渡駅～京急蒲田駅)です。国・都・区・京急・東急で負担割合の調整を図る段階まで話は具体化できていません。特に東京都と大田区の調整が図れば計画の実行へと進みます。

# 羽田・蒲田からスムーズに 渋谷・新宿・池袋方面へ



区政に対するみなさまのご意見をおきかせ下さい！

### ゆもと良太郎 プロフィール 42歳3児の父

昭和51年5月10日	大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て、
平成15年4月	大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位。
平成19年4月	大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)。
平成27年4月	大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。

### 大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10 TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482  
<http://www.yumoryo-otacity.jp> info@yumoryo-otacity.jp